



(131)

小学校高学年 ～中学生向け 年 組

県、スマートワーク加速

インフラ整備で効率化

県は10月から、デジタル技術を活用した働き方「スマートワーク」への転換を本格的に進める。職員のパソコンを順次モバイル型に切り替え、どこでも効率的に働ける環境を整えるほか、チャットやオンライン会議のアプリ「チームズ」などを活用していく。業務効率を上げ、県民サービス向上やワークライフバランスの実現を目指す。2月に県が策定した「県庁DX推進ビジョン」に基づく取り組み。多様化する県政課題に限られた人

員で対応するため、ビジョンでは①働きやすい情報インフラの整備②業務プロセスの改善③意識変革」を柱に掲げた。

パソコンの更新は10月から開始。新機種は重さが従来の半分の1キほどで持ち運びやすい上、外部から庁内ネットワークへのアクセスが可能になる。出先機関を含め来年2月末までに配備する予定。パソコンの他にディスプレイを配備し、2画面化により紙の節約なども図る。

県民サービス向上を目指す

「チームズ」の活用は、電話やメールが中心だった職員同士の情報伝達をチャット中心に変え、電話を取り次ぐ手間や作業の中断を減らす。テレワークの支障にもなる紙決裁から、電子決裁への転換も推進する。

県は本年度「とちぎデジタル県庁推進事業費」として約16億6千万円を計上している。

県行政改革ICT推進課は、職員の意識改革を促すためスマートワークのガイドラインを策定した。広川貴之課長は「デジタル技術の活用で時間を生みだし、県民目線の企画立案を強化する。十分な費用対効果が期待できる」と話した。

新たに配備されたディスプレイを使い、事務作業に当たる県職員＝29日午後、県庁



(小口華奈子)

設 問

【1】この記事には、カタカナで書かれた言葉があります。見出しなども含めて延べ何回、カタカナの言葉が出てきますか？ 予想してから数えてみましょう。

- ・ア 10回以下
- ・イ 11～20回
- ・ウ 21～30回
- ・エ 31回以上

【2】「スマートワーク」という言葉を知っていますか？ 県庁が進めようとしていることを次のようにまとめました。()の中に記事の中の言葉を入れましょう。

- (1) () 技術を活用して、どこでも (2)

(3)) を生み出し、(4)) 向上とワークライフバランスを目指す。

【3】本年度の栃木県の当初予算は1兆86億円です。「とちぎデジタル県庁推進事業費」は約16億6000万円です。県の予算に占める割合はどのくらいでしょう。

- ・ア 約16%
- ・イ 約1.6%
- ・ウ 約0.16%

【4】みなさんが「スマートワーク」の職場で働くために、必要なことはどんなことでしょうか？ 家族や友達と話し合ってみましょう。